

農林水産部

仕事の
窓

2



生産者等約100名に参加いただきました

講演及び「OKINAWA」からできる農水産物・食品の海外輸出とは？」と題してパネルディスカッションを開催
日本ブランド農業事業協同組合 佐藤事務局長から、沖縄の新しい海外輸出戦略を考える」をテーマに講演が行われました。
その後パネルディスカッションでは、アジアネット田中代表のコーディネートにより、観光業との連携強化や市場創出の重要性等について意見交換が行われました。

輸出促進セミナー

(10:00~12:00)



産品の特徴等を熱心に説明

シンガポール、中国、中東等を対象とするバイヤーを国内外から招へいし、輸出に関心のある県内事業者へ個別商談の場を提供
青果、もずく加工品、シーワサー、果汁、泡盛等を生産・販売する県内の農漁業者、食品加工業者等18社が、希望する国内外のバイヤー12社と商談を行いました。

展示・商談会

(13:00~16:00)

出産品発掘会

(16:30~18:00)

事業者が持ち寄った産品を、招へいたバイヤーに試食していただき、感想や意見を求め、今後海外で売れる輸出産品を発掘
事業者が自社商品のプレゼンテーションを行った後、バイヤーが商品を試食し、両者が食材の魅力、輸出産品としての可能性について話し合いました。
最後に、バイヤーから次のコメントがありました。
・これからは本物の商品が求められる。価格に見合う商品力が必ず。
・パッケージにも留意して商品開発して欲しい。
・展示・商談会はきつかけづくりの場。行政が協力して継続して欲しい。



輸出オリエンテーションの会は平成21年度も開催を予定しています。

輸出促進に関するホームページ(沖縄総合事務局)

http://ogb.go.jp/nousui/nousui_yushutu.html

Point

近年、世界的な日本食ブームの広がりや、アジア諸国等における経済発展に伴う富裕層の増加等により、高品質な我が国農林水産物・食品の輸出拡大のチャンスが増大しています。
沖縄総合事務局では、農林水産物・食品の輸出促進に関心のある生産者、事業者を支援するため、農林水産省及び沖縄地域農林水産物等輸出促進協議会の共催により、「農林水産物・食品輸出オリエンテーションの会」を開催しました。
日時：平成21年2月9日(月) 10:00~18:00
場所：那覇市



沖縄県産農林水産物・食品を海外へ!!